



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

- 5日**

トランプ米大統領の健康不安説が払しょくされたことで、ドル円はアジア時間の朝方から買いが先行。米国株式相場や米長期金利の上昇、米ISM非製造業指数が予想を上回ったことなども手掛かりとなり、一時105.79円まで値を上げた。
- 6日**

ドル円は前日高値の105.79円を上抜けることができず、アジア時間から伸び悩む展開に。トランプ米大統領が「11月の大統領選後まで追加経済対策の協議を中止するように交渉担当者に伝えた」とツイートすると、ダウ平均が急落したことで105.47円まで弱含んだ。
- 7日**

トランプ米大統領が個別の財政出動には前向きな考えを示したことで、ダウ平均が大きく上昇。リスクオフの流れに沿って、ドル円も一時106.11円と9月14日以来の高値を更新した。
- 8日**

ドル円は106.00円を挟んだ狭いレンジ内相場に終始。アジア時間には米副大統領候補のテレビ討論会があったものの、相場への影響は限定的だった。
- 9日**

ドル円は日経平均株価の下落を背景に売りが先行した。その後もユーロドルなど対欧州通貨を中心にドル売りが進んだ影響もあり、NY時間には105.58円まで売りに押された。米長期金利が低下したことも相場の重しとなった。
- 総括**

先週のドル円は上値の重い動きとなった。週明け5日は日本時間の早朝にトランプ米大統領が入院先の病院周辺を車で回り、新型コロナウイルス罹患による健康不安説を払しょくさせたことで、株高とともに買いが先行。もっとも、翌6日には米大統領が11月の大統領選後まで追加経済対策の協議を中止する方針を示したため、株価の急落を手掛かりにした売りに押された。7日には米大統領が個別の財政出動に前向きな考えを示し、株高とともに再び買いが優勢に。一時は106.11円と9月14日以来の高値を更新する場面もあったが、週末にかけては日本株の下落や米金利の低下、全般にドル安が強まったことで105.58円まで押し戻された。なお、追加の米経済対策を巡る米与野党協議は、一度は中断したものの8日に再開。市場では米経済対策の早期成立への期待が高まるなど、総じて米大統領発言や米経済政策の動向に振られる動きが目立った。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
5日	23:00	月	USD	ISM非製造業指数	*	9月	56.9	56.3	57.8
6日	12:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	0.25%	0.25%	0.25%
6日	17:35	火	EUR	ラガルドECB総裁発言	*	*	*	*	*
6日	23:40	火	USD	パウエルFRB議長発言	*	*	*	*	*
7日	27:00	水	USD	FOMC議事要旨	*	*	*	*	*
8日	20:30	木	EUR	ECB理事会議事要旨	*	*	*	*	*
9日	21:30	金	CAD	新規雇用者数	*	9月	24.58万人	15.66万人	37.82万人

一言コメント・・・RBAは市場予想通り政策金利を据え置いたものの、声明で「経済を支援するため、追加措置を講じる可能性」を示唆。豪利下げ観測を背景に豪ドルを売る動きが優勢となりました。一方、週末の9月カナダ雇用統計が予想以上に良好な数字となったことを受け、カナダドル買いが優勢となりました。

先週の注目された要人発言

6日03:40 トランプ米大統領「ウォルター・リード・メディカルセンターを本日18時30分に退院する」
 6日12:32 RBA声明「完全雇用への進展が見られ、インフレが2-3%の目標範囲内で持続可能と確信するまで利上げはしない」「経済がさらに開放されていく中で、追加の金融緩和がどのように雇用を支えることができるかを引き続き検討」
 6日23:45 パウエルFRB議長「5、6月から景気改善のペースは鈍化」「支援が少なすぎると不必要なハードシップが発生する」「政策支援をやりすぎるリスクは小さい」「見通しは非常に不確実」
 7日03:52 トランプ米大統領「米追加経済対策についての協議を大統領選後まで中止する」
 7日05:49 米共和党のマコネル上院院内総務「トランプ大統領の経済対策協議停止の決定を支持する」
 8日03:00 FOMC議事要旨「スタッフ予測は追加財政支援を想定」「フォワードガイダンスは無条件のコミットメントではない」
 8日09:13 RBNZ当局者「最近の金融政策はさらなる利下げに向けて動いている」
 8日20:38 ECB理事会議事要旨「7月以来、ユーロの上昇が顕著」「強いユーロは、金融緩和の効果を減じる」
 10日00:46 クドローNEC委員長「景気刺激策についてムニューシン米財務長官とペロシ米下院議長(米民主党)は本日も午後協議する予定」「トランプ米大統領は修正後の景気対策案を承認した」
 10日00:53 トランプ米大統領「米景気対策案についての交渉は進んでいる」「民主党案よりも大規模な経済対策案を望む」

一言コメント・・・新型コロナに感染したトランプ米大統領の容体改善や米追加経済対策を巡る合意期待を背景に米国株が底堅く推移したため、リスク・オンのドル売りが優勢となりました。経済対策を巡っては一度は中断したものの8日に再開。市場では米経済対策の早期成立への期待が高まりました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
12日	20:00	月	EUR	ラガルドECB総裁発言	*	*	*	*	*
12日	25:00	月	GBP	ベイリーBOE総裁発言	*	*	*	*	*
13日	21:30	火	USD	CPI	前月比	9月	0.4%		0.2%
14日	21:30	水	USD	PPI	前月比	9月	0.3%		0.2%
15日	09:30	木	AUD	新規雇用者数	*	9月	11.10万人		-3.50万人
15日	21:30	木	USD	フィリー指数	*	10月	15.0		14.3
16日	21:30	金	USD	小売売上高	前月比	9月	0.6%		0.8%

今週の注目は・・・英EU貿易交渉

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。